2026年4月9日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

放水立坑（上流水槽）上流海水配管水の分析結果

要約	分析値	288～352　（Bq/L）　(1,500Bq/L未満の確認)
	計算比較	計算値（186～744Bq/L）と同程度を確認　※2

放射能分析　トリチウム

核種	採取日時	分析結果		
		分析値（Bq/L）	不確かさ ※1（Bq/L）	検出限界値（Bq/L）
H-3	2026/04/08 07:17	3.2E+02	± 3.2E+01	7.7E+00

・○.○E±○とは，○.○×$10^{\pm○}$であることを意味する。
（例）3.1E+01は3.1×10^{1}で31，3.1E+00は3.1×10^{0}で3.1，3.1E－01は3.1×10^{-1}で0.31と読む。
※1　「不確かさ」とは分析データの精度を意味している。
「不確かさ」は「拡張不確かさ：包含係数k=2」を用いて算出している。
※2　「計算値」とは，測定・確認用設備で分析したトリチウム濃度とALPS処理水，海水の流量比から計算で求めた値。
「計算値」は当社ホームページに掲載している「希釈後トリチウム濃度」を指し，潮位などにより，わずかに変動するが一日をとおして変化するものではないため，原則，試料採取日の午前7時の値を用いて計算比較する。
https://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f1-rt/html-j/f1-alps_fd-month-sel-j.html
分析値は，混合希釈の不確かさ（1/2×計算値～2×計算値）を考慮した計算値と比較する。